1. 実習校について

○実習校	〇〇市立〇〇中学校
○教科	英語
○担任(学年)	2年〇組
○部活	ソフトボール部
○その他(校務分掌等)	なし

2. 実習の成果(できたこと、得たもの等)

〈教科指導〉

教科指導での成果は、生徒の様子や反応、発言を大切にしながら生徒と向き合った授業を行うことができたこと、教科書の内容を用いながら生徒の興味を引き出す授業作り、各授業の繋がりを意識した授業作りを自分なりに考え、実践できたことです。

授業実践が始まった頃は、緊張から自分の気持ちに焦点が当たっていましたが、私の授業を受けている生徒の気持ちに焦点を置くと、どのように生徒にとって良い授業を届けられるかを考えるようになりました。それからは生徒の気持ちにできるだけ寄り添いたいという思いから、授業の中でも生徒の様子や反応、発言に注目し、対話をしながら授業を行えたと思います。

教科書の内容を用いながら生徒の興味を引き出す授業作りに関しては、教材研究に時間をかけて頑張りました。英語の教科書は、環境やエネルギー、テクノロジーなどの題材を取り扱うため、悪く言えば生徒にとっては親しみを持ちにくくありますが、よく言えばそのような題材で興味を引き出せると考えました。教材研究では、題材(私が行った範囲は「生物模倣」)についての記事を下調べし、授業で使える動画や画像も探しました。授業では、導入で動画や画像を用い生徒に発問しながら、下調べした面白い知識などをおり混ぜ、題材から生徒の興味を引き出すことができました。

〈学級経営〉

学級経営では、朝学活や終学活、日誌を通して、日頃の生徒の様子や動きを見て、良かったところや感じたことを伝えることができました。また、担任の先生の学級運営の仕方や、生徒への指導や言葉掛け、体育大会に向けたクラスのまとめ方などを学ぶことができました。

朝学会では職員朝礼で聞いた連絡事項を伝え、終学活では1日の中で生徒が頑張っていたところや、良かったところを評価する言葉をかけていました。

特に担当した学級の担任の先生は学級運営に力を入れていたため、終学活の内容や、席替えの際の班長の決め方、体育大会の練習、掃除時間の指導、教室の整備など、工夫しているところや大切にしているところを知りました。中でも印象に残っているのは、掃除をしていない生徒を指導するとき、一方的に「しなさい」と指導するのではなく、なぜしたくないのかを生徒から聞き出し、どうすればできるようになるかを一緒に考えていました。担任の先生が、小さなことにも目を向けて指導したり、学級の時間を大切にしたりすることで、先生がしっかり見てくれている

という安心感が生徒に伝わるのではないかと感じました。

〈生徒対応〉

生徒とは授業や休み時間、給食、部活動、体育大会の練習を通して、コミュニケーションをできる限り取ることができました。特に休み時間や給食では、自由な話題で話すことができたので、より距離を縮めることができました。

生徒と関わる中で意識したことは、名前を覚えることと、小さなことでも一人一人に話しかけることです。話す中で、好きなことをキラキラした目で話す姿や、学校以外で頑張っていることを知ることができました。後に、「先生が話しかけてくれて嬉しかった」とメッセージをくれた生徒がいたので積極的に話しかけて良かったと思いました。

担当した学級以外の生徒は関わる時間が限られているので、授業の前後や休み時間でできる限り生徒と関わりました。

3. 実習ででてきた課題(できなかったこと等)

〈教科指導〉

授業実践を通して出てきた課題は、スピーキング活動の量、グループワークの進め方です。まず、スピーキング活動に関して、音読指導や即行で話す活動を準備していましたが、文法指導や本文読解を主に行ったため十分な時間を取ることができませんでした。一単元の指導案を作る際に、読む・書く 話すの時間をバランス良く取り、その時間に合わせた活動を行うべきだったと反省しました。

また、グループワークの時間に、生徒の話し合いが進まないことがありました。グループワークが進まない原因としては、私の説明やグループワークの流れが曖昧であったり、個人でもできてしまう内容であったりすることです。また、生徒と話し合いをして考えさせたいのか、それとも分からないところを教え合って欲しいのか、私の中でグループワークを行う目的も持つ必要があると考えました。

4. 実習を行った感想

一教員として生徒と過ごした 3 週間は、毎日が充実し、とても楽しかったです。実習校の先生は教科指導以外の指導や業務の方が多いと話しており、実際に多忙に働く先生の姿を見ることができました。私は授業実践に向けた準備で大変だと感じましたが、どうすれば生徒が喜ぶだろう、楽しくなるだろうと考え準備することが、とても楽しかったです。研究授業に合わせて授業を調整したので各クラスで空きのコマができてしまい、指導教官からは授業を行わなくてもいいと言われましたが、せっかくなので英語のゲームを準備しました。生徒の楽しそうにしている姿をみて、頑張りが報われたと感じました。また、生徒が教育実習生の私にとっても協力的で、子どもの純粋な気持ちや言動にとっても救われました。子どもと関わる教員という仕事の魅力を実感できた 3 週間でした。

5. 今後に向けて

来年の春から高等学校で英語の先生として働くことが決定したので、残り半年は大学の授業や教育実習で学んだことをまとめて、自分の考えを明確にしたいと思います。特に教科指導や生徒との関わり方で大切にしたいことや、自分の理想について考え、学校現場で少しでも生かせるようにしたいと思います。